

日本共産党 八尾市会議員団

ニュース



八尾市議員
公式 LINE

八尾市本町 1-1-1

八尾市役所内

Tel 991-3881 (2796-2797)

E-mail yao.com@siren.ocn.ne.jp

2025 年 4 月号 NO. 338

2 議席となり、4 つの常任委員会中 2 つしか配置できなくなり、議案提案権も失った中で初めて迎える 3 月議会でした。「万博ではなく暮らし」「維新流行革の行き詰まり」を追及し、切実な要求の実現（給食費無償化、市立病院の送迎バス、補聴器補助の拡充、手話言語条例成立など）の前進も勝ち取りました。

議会の形がい化

党の議席後退で議会の形骸化も進んでいます。党の議席のない委員会では、保育や学童保育に関する重要な予算や条例の審査にもかかわらず、昼過ぎには終了。

最終本会議では、ほぼ日本共産党だけが討論（13 本）、与党（維新）は賛成討論もしませんでした。

くらしより万博!?

市長の市政運営方針と当初予算の最大の特徴は、万博の破綻と危険から目をそむけ、税金を投入し市民と子どもたちを



市民の切実な要求実現へ

給食費無償化・補聴器補助の拡充・手話言語条例成立など

動員する無責任な方針です。万博遠足も大阪府下で突出した前のめりです。この方針に正面から対決したのは日本共産党だけでした。

当初予算の問題点 議員団の反対表明

以下の点についても問題点を指摘し、現地調査も踏まえ、市民アンケートの結果も活用し、反対を表明しました。

○ 物価高騰など市民の暮らしを守るための施策がないこと。
国保・介護・後期高齢・上下水道使用料の引き下げなど要望。

万博遠足中止を 議員団 緊急申し入れ



教育長に万博遠足中止の要望書を提出する議員団。左から田中、おちの各氏 10 日。

4 月 10 日、日本共産党八尾市会議員団は「危険な万博遠足の中止」の緊急要望書を市に提出しました。

（関連記事 2 面）

○ 誰でも通園制度や学童保育の S S 事業に反対。
○ 消防本部庁舎の P F I が破綻、ごみ収集事業のコスト削減も破綻にかかわらず、斎場の全面民間委託化、公立東山本認定こども園といちよう学園の保育給食の民間委託を実施。
○ 人（公務員）・物（備品や補修）・金（予算）は緊縮し、職員不足や学童保育のトイレ問題、コミセンの備品の老朽化や道路の修繕・補修の遅れが出ていること。
○ その一方で、万博や 3 館合築（西郡・安中）には放漫財政であること。

議会質問を映像でご覧いただけます。



おち議員の
代表質問



田中議員の
個人質問

破綻と危険をかかえ 万博開催

八尾市は税金で市民と子どもを大動員

ガス爆発の危険や大赤字の可能性など致命的問題点を抱えたまま万博が開催しました。無法なカジノ開設のため国民無視で進めてきた自公政権と維新、財界の責任が問われています。

最大の問題は安全性です。夢洲は、現役の廃棄物最終処分場であり、一日3トンメタンガス

が発生しておりコントロールができていません。テストラン開催中に、会場内で爆発の危険のある濃度のメタンが検知されました（写真）。

昨年3月に同じ区域でメタンガスによる爆発事故が起きておりガス換気の対策をとっていたはずなのに検出されたのは大問題です。しかも、引き

続きライターの持ち込みやプロパンガスの使用などを認めています。

八尾市はこれら不都合な事実から目を背け、R4度からR7年度にかけ3億7千万円の予算を注ぎ込み市民と子どもを動員します



テストランで

メタンガスを検知！

守口の元消防士の日本共産党市議がテストラン参加中、屋外会場付近でメタンガス検知機で爆発濃度のメタンガスを検知。（日本共産党柏原市会議員団提供写真）

議員団として4月5日のテストランに参加をし、改めて万博遠足中止の申し入れを行いました。

最大の危険はガス爆発です。また、駐車場から入り口までの立ち並ぶガス抜き管から爆発濃度を超えるメタンガスが検知されました。

ガス検知器



さらに、バス駐車場から入り口までの1kmの熱中症対策はミスト付き扇風機の設定だけ。給水機での行列やパビリオンの割り振りなど問題も指摘されています。

日本共産党市会議員団の要望で教育委員会は下見に

いのち軽視の万博遠足はやめよ 八尾市以外では下見で遠足中止が続々と

行きましたが、熱中症対策は要望したいなど問題点を認めながらも中止を表明していません。

バス駐車場から西ゲートへの道



教育委員会が全学校のバス（1億1千万円・600台）予算を準備し、全学校の遠足日程が組まれています。これでは学校行事ではなく、八尾市・教育委員会あげての万博動員です。

教育委員会で提出された市民からの『万博遠足の再考を求める』請願には、一部の教育委員が賛同を表明され、万博遠足先にありきへ一石が投げられました。

万博参加も
タダじゃない！

総額 3億7千万円

- 万博遠足など子ども無料招待事業関連
1億5千万円（万博遠足バス代1億1千万円）
- リボーン 大阪ヘルスケアパビリオンに出店催事（1週間）
3600万円
- 機運醸成
6000万円
- 大阪ウィーク（万博会場の舞台など出店・催事）
1億1千万円 他

引き続き、「無償化を恒久的に！」 声を上げていきましょう



小中学校の給食費は今年度も

「無償化継続」できました

日本共産党が掲げる『子育て応援』3つのゼロへ！

- ① 学校給食費の無償化
- ② こどもの国保料ゼロ
- ③ こどもの医療費完全無料化

恒久的無償化 今こそ必要

「学校給食費ゼロ」については、今年度も1年限りですが実現しました。物価高騰の中でも、安心して子ども達が栄養豊かな給食が保障されるように、「恒久的無償化」の実現が、今こそ必要です。

文科省の調査では、1794自治体中43・1%の自治体ですすでに学校給食費の無償化を実施しています。

国会では以下のやり取りがありました。

日本共産党田村智子（日本共産党委員長）議員―「学校給食無償化を国の責任でやるのか」

阿部文科大臣―「具体的な進め方は現段階では答えられない」が、「小学校を念頭に地方の実情を踏まえ、2026

年度に実現し、中学校への拡大もできるかぎり早期に実現する」

市長の答弁でも
また、本市においても、市長は「物価高騰があるなかで、家計支援を行うとともに、一刻も早い「恒久的小中学校の給食費の無償化」に八尾市も国も踏み出すことを強く求めるものです。

「こどもだれでも通園制度」について八尾市のホームページでは、「保護者の就労要件を問わず、月10時間までの利用可能枠の中で、時間単位等で柔軟に通園が可能な仕組み（令和7年度6月より開始）」と書いています。

「通園制度」の問題点

しかし同制度には、以下のような問題があります。

① 保育事業の実績のない営利企業でも施設の基準を満たせば実施可能となっている。

② 施設や曜日を決めず、居住地以外の施設でも空きがあれば利用してよいとなっている。しかし、保育施設における子どもの死亡事故は預け初めが多く、毎回違う施設に預けることは、重大な事故のリスクを子ども達に負わす

「こどもだれでも通園制度」 って不安だらけ



ことになる。

③ 職員配置。保育士の有資格者は半分くらいとしている。

④ 児童福祉法で定める保育所制度には、市町村に保育の実施義務があるが、同制度においては利用者が直接施設に申し込む。市町村は利用者の利用調整もせず、保育の実施義務なし。

公的責任で質の高い保育を

本市においては、問題点を多数抱えたままこの制度が6月1日から八尾市立東山本認定こども園でスタートし、民間は10月から開始予定です。

いま国がやるべきは、すべてのこどもたちの保育を受ける権利を保障する観点から、公的責任で質の高い保育を提供できる制度をつくることではないでしょうか。

带状疱疹ワクチン定期接種化について

予防接種法施行令の改正により、令和7年4月1日から高齢者を対象とした带状疱疹ワクチンの定期接種を実施します。

1. 対象者（令和7年度）

- ① 65歳の方（対象者 2,825人）
 - ② 60歳から64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方（免疫機能の障がい者手帳1級相当）（対象者 数人）
 - ③ 5年間の経過措置として、70歳から100歳までの5歳年齢ごと（対象者 12,866人）
- ※100歳を超える者については、令和7年度に限り全員を対象（対象者 160人）
対象者総数：約 15,900人（住基データより R7.4.1における対象者数を抽出（R7.2.4））

2. 実施期間、実施場所

期間：通年（令和7年4月1日～令和8年3月31日）
場所：八尾市内の委託医療機関（約150程度：参考肺炎球菌ワクチン）

3. 接種方法、間隔、自己負担額・・・ワクチンは2種類あり、いずれか一方を選択する。

種類	接種回数	自己負担 ※	発症予防効果	留意事項
生ワクチン	皮下注射1回	4,400円/回	5年程度	免疫不全者は接種不可
組換えワクチン	筋肉注射2回	11,000円/回	10年程度	2回目の接種は2ヵ月以上あける

※生活保護受給者、市民税非課税世帯及び中国残留邦人支援給付受給者は申請により無料となる減免制度あり。減免受付は保健センター窓口もしくは郵送、電子申請とする。

対象者には個別通知があります

待望の八尾市立病院への 送迎はじまります

7月1日からスタートの市立病院のハイエース！

- 1 近鉄山本駅⇨市立病院
- 2 地下鉄八尾南駅⇨出戸駅⇨市立病院

3年間、試行期間として運行。一番求めている朝一番の診察に間に合う時間から走らせるとのこと。大体1時間間隔で走りまわります。

もっと走行コースをひろげていきたいと思います。

祝

市の手話言語条例が 制定されました



3月議会最終本会議で成立した手話言語条例。全会派一致の議会提案です。

5年前、「手話は言語です」と当事者や支援者のみなさんから働きかけを受けました。手話言語条例がないのは八尾市だけでした。「なんとしても成立を」と粘り強く取り組んでこられました。

日本共産党も条例成立のため力を尽くしました。

手話言語条例の制定で、健聴者もろう者も互いに理解をひろげ、共に生活していく八尾のまちをつくっていきましょう。

八尾市加齢性難聴者補聴器購入 助成事業のご案内

補聴器の購入費最大25000円の助成が今年も始まりました。昨年の40人から60人へと枠が広がっています。

対象 65歳以上で介護認定なしから要支援2まで
市民税非課税世帯
医療機関を受診し、両耳30デシベル以上と診断された方

まず、ご相談は市役所1階の15番窓口へ

各会派の請願採択に対する態度

【○賛成・×反対】

請願名	請願項目	文教常任委員会		本会議における各会派の採決態度					
		討論	審査結果	日本共産党	大阪維新の会	公明党	八尾保守の会	八尾の未来を紡ぐ会	新声
中学校における「41人以上」学級の解消を求める請願の件	市内中学校における41人以上の学級を速やかに解消し、すべての学級が40人以下になるようにして下さい。	無し	不採択 (維・公・保)	○	×	×	×	×	×

本会議でおち議員が賛成討論を行いました。他会派の反対により不採決となりました。